



平野啓子

山極寿一

## ■第二部…ともいき談義

山極寿一 (京都大学大学院教授・霊長類学)

平野啓子 (語り部)

中野正明 (浄土宗僧侶)

青木新門 (作家) ※コメンテーター

高田公理 (佛教学教授) ※コーディネーター

# 法然共生フォーラム

ともいき

いのちを慈しむ知恵

in 金沢

世界に満ちる様々ないのち  
モノやコトにも宿るいのち  
あの世とこの世を結ぶいのち  
太古から未来へ継がれるいのち  
そんないのちと共にあること  
共にある私を確かめること  
それが『ともいき』です



## ■第一部…ともいきがたり (講演)

「死をめぐる共生」  
青木新門 (作家)

青木さんが「死者たちから教わった  
蛆さえも光ってみえる共生の世界」  
著書『納棺夫日記』に込められた  
共生への願いについて お話戴きます

今回のテーマ:

## 往生～死をめぐる共生

死者を用い送り出す営みや  
先祖や先人をまつる営みを見つめながら  
過去から未来につらなる  
遙かな“いのち”との共生を考えます

参加無料

※参加応募方法を裏面に記載しています

日時：平成21年 11月2日(月) 18時30分より  
(18時開場/21時15分終了)

会場：北國新聞赤羽ホール (金沢市南町)

主催：浄土宗 共催：北國新聞社 後援：京都新聞社 特別協力：法然上人をたたえる会

協力：総本山知恩院(京都) 大本山増上寺(東京) 大本山金戒光明寺(京都) 大本山知恩寺(京都)

大本山清浄華院(京都) 大本山善導寺(久留米) 大本山光明寺(鎌倉) 大本山香光寺大本願(長野)

とも いき  
法然共生フォーラム  
～いのちを慈しむ知恵～

ここは乾き、いのちは痩せ細り、社会は、ゆくえの见えない閉塞に覆われています。

いまこそ豊かな想像力を取り戻し、あらゆるものに等しく息づく“いのち”を想い、慈しみたい。

世界に満ちる多様な“いのち”、過去から未来へ連なる遙かな“いのち”と共にある・・・それが“ともいき”です。

このフォーラムは、法然上人の教えに流れる“ともいき”精神について考える、

対話と交流の場です。浄土宗が全国各地で開催しています。



### 青木新門

(作家)

あおき しんもん

1937年、富山県生まれ。早稲田大学中退後、飲食店経営の傍ら文学を志す。'73年、冠婚葬祭会社に入社。'93年、葬式の現場の体験を著した『納棺夫日記』がベストセラーに。米国でも出版されたほか、原著を原案とした映画『おくりびと』が2008年、第81回アカデミー賞外国語映画賞を受賞した。他の著作に小説『柿の炎』詩集『雪道』チベット旅行記『転生回廊』など。



### 山極寿一

(京都大学大学院教授、霊長類学)

やまぎわ じゅいち

1952年、東京生まれ。京都大学理学部卒、理学博士。国際霊長類学会会長。アフリカ各地でゴリラを野外研究。ゴリラとチンパンジーがどのように共存しているか、他の生物といかに共進化してきたかを研究。類人猿の行動や生態から初期人類の生活を復元し、人類に特有な社会特徴の由来を探る。著書に『ゴリラ』『家族の起源』『ジャングルで学んだこと』『暴力はどこから来たか』『人類進化論』など。



### 平野啓子

(語り部)

ひらの けいこ

静岡県沼津市出身。早稲田大学卒。『NHKニュースおはよう日本』キャスター、大河ドラマ『毛利元就』『義経-義経紀行』の語り等を務める。一方、古典から現代作品まで名作・名文を暗誦する「語り芸術家」として国内外で公演。文化庁芸術祭大賞等受賞。『語り』を総合芸術の域に高める。著書に『兼好に恋して徒然草に学ぶ』、語りCDに『走れメロス』ほか多数。

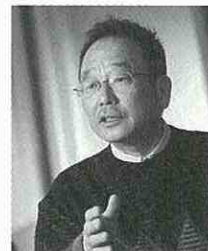


### 中野正明

(浄土宗僧侶)

なかの しょうみょう

1954年、福井県生まれ。大正大学大学院博士課程単位取得。華頂短期大学学長。文学博士。学校法人佛教教育学園副理事長、日本私立短期大学協会常任理事・教務委員長、総本山知恩院文化財保存委員長。専門は日本仏教史、浄土宗史。著書に『増上寺史』『知恩院史料集』『京都永観堂禅林寺文書』『法然遺文の基礎的研究』など。



### 高田公理

(佛教大学教授)

たかだ まさとし

1944年、京都市生まれ。京都大学理学部卒業後、シンクタンク主任研究員、武庫川女子大学教授などを経て'08年より現職。学術博士。専門は社会学・文明学・観光学。著書に『にっぽんの知恵』『酒場の社会学』『自動車と人間の百年史』『“流行”の社会学』、編著に『嗜好品の文化人類学』など。

#### ■今回のテーマ「往生～死をめぐる共生」について

「誕生の記憶」や「死の体験」を持つ人はいない。ただ、臨死体験の果てに蘇る人は少なくない。その体験には共通点が多い。

——死が宣告される。すると、静かな安らぎが訪れる。暗いトンネルを通ると、魂が体を離れ、命そのものであるかのような光に出会う。そして、生への執着、死への恐怖が共に消え、清らかな、あらゆるものへの感謝の気持が満ちてくる。「往生の時」が来たのだ。

そういえば、野生動物の死に顔は、なべて穏やかだという。「いのち」は、巧みに死を受け入れる仕組みを、その内にはらんでいるらしい。

しかも、彼ら動物には「いつか訪れる死」への想像力がない。だから「その場その時」を精一杯に生きる。それに比べて人間は、つい「生の有限」を思いわずらうからか、ときに「その場その時」をおろそかにする。

もしかすると「極楽往生への確信」が、その場その時を「懸命に生きる力」を与えてくれるのかもしれない。

高田公理(コーディネーター)

日時：平成21年11月2日(月)  
18時30分～21時15分  
会場：北國新聞赤羽ホール

#### 次 第

18:30～ 開会挨拶

#### ■第1部：ともいきがたり

青木新門

19:20～ <休憩>

19:35～ 浄土宗の活動紹介

#### ■第2部：ともいき談義

山極寿一・平野啓子・中野正明

青木新門・高田公理

## 参加応募方法

参加は無料です。抽選で500名様に参加券を発送します。参加ご希望の方は、はがきに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し下記までお送り下さい。はがき1枚で2名様まで申込可能(お名前2名分を記入)。FAXやEメールによる応募も可能です。申込みは**10月14日(水)消印・着信有効**。発表は参加券発送にて替えさせて戴きます。

〒604-8161 京都市中京区饅頭屋町595-3 法然共生フォーラム事務局「金沢」係 ※「金沢」係と必ず明記願います

Eメールアドレス:tomoiki@convention.jp TEL:075-256-8672 FAX:075-256-8673

※参加ご応募に必要な個人情報を第三者に対して開示・提供することは一切ありません。